

外国語教育セミナーIN 福岡

—グローバル時代の人材育成と外国語教育—



講師

當作靖彦（とうさくやすひこ）
カリフォルニア大学サンディエゴ校教授。アメリカ日本語教育学会会長。

『NIPPON3.0 の処方箋』（今年7月講談社刊）等著書多数。



世界が注目する 21 世紀スキルを身につけよう！

日時：2013 年 10 月 14 日（月）13:00-16:10

※10:30～12:00 に中国語教育、韓国語教育に関する実践報告があります。

※16:30 から1時間程度の懇親会を予定しています。

会場：九州産業大学（福岡市東区松香台 2 丁目 3-1）

アクセスはこちらから <http://www.kyusan-u.ac.jp/guide/map/access.html>

実施機関：主催／中国語教育学会・福岡韓国朝鮮語教育研究会

公益財団法人国際文化フォーラム（TJF）

後援／福岡県教育委員会

内容：講演およびワークショップ

参加費：無料

定員：講演 400 名、ワークショップ 50 名 いずれも先着順
※ワークショップのみの申し込みは受け付けておりません。ワークショップの定員を超えた場合は、講演のみにご参加いただくこととなります。

申込み：http://link.tjf.or.jp/1014 の専用メールフォーム
もしくは専用申込み用紙（FAX）でお申し込みください

問合せ：公益財団法人国際文化フォーラム（担当：水口・宮川）

Tel. : 03-5981-5226 E-mail:snaseminar@tjf.or.jp

外国語教育セミナーIN 福岡

—グローバル時代の人材育成と外国語教育—

講演: 「グローバル時代の人材育成と外国語教育」 13:00～14:30 1号館S201

21世紀は急速なテクノロジーの発達で社会、経済の変化を主導するグローバル化の時代です。20世紀とは大きく異なるこのグローバル化の時代を生きぬくためには、これまでとは違う知識、能力、資質が必要と言われていきます。しかし、日本の教育は新しい知識、能力、資質を持った人材を生み出しているのでしょうか。21世紀のグローバル化に対応できる人材に必要な2大能力とはコミュニケーションと協働作業によって「つながり」を作る能力と21世紀が直面する環境、人口移動、気候変化、エネルギー、食糧などの複雑な問題を解決する「高度の思考力」と言われています。外国語のクラスはこのような能力を発達させる絶好の場ですが、日本ではそのための外国語教育が行われているのでしょうか。この講演では、「つながる」力と「高度の思考能力」を含む「社会力」を養う外国語教育の新しい方向性を示すとともに、グローバル時代に必要なイノベーターとなれる人材を育成する環境作りの必要性を考えます。

ワークショップ: 「読解活動で養う高度の思考力」 14:40～16:10 1号館N407AB

21世紀は情報の時代と言われています。必要な情報を迅速に集め、情報を組み合わせたり、加工したりして新しい情報を生み出す能力を獲得することが重要な時代です。外国語の授業でも、このような情報のリテラシーを持つことを目的として読解活動を行うことが大切です。読解活動とは、単に文法と語彙の知識を使って書かれた内容の意味を理解することではなく、テキストとの様々なインターアクションを通して意味を作り上げていくプロセスです。このプロセスでは、高度の思考力が必要となるとともに、効果的に読解を行うことで、さらに高度の思考力を高めていくことができます。このワークショップでは、読解活動を体験しながら、高度の思考力を高める読解活動とはどのようなものかを考え、教科書の中あるいは社会で実際に使用されている文章を使って、高度の思考力を養う読解活動を作ってみます。

※本ワークショップでは、中国語、韓国語ほか日本語テキストと簡単な英語のテキストを使用いたしますので、すべての外国語の先生や国語の先生などことばの教育に関わる方々にご参加いただけます。

午前中のセッション: 中国語教育と韓国語教育に関する実践報告 10:30～12:00

【中国語教育】 1号館 N407AB

テーマ: 中国人留学生と日本人学生との協働会話学習

報告者: 平川彩子 (久留米大学)、永利貴子 (久留米大学・非常勤講師)

テーマ: 「つながる」ための正統的周辺参加 —“把”構文で人助け

報告者: 鈴木慶夏 (釧路公立大学)

【韓国語教育】 1号館 N408AB

テーマ: ことばの学びと交流を考える —TJFの日韓 中高校生交流プログラムの実践を通じて—

報告者: 中野敦 (公益財団法人国際文化フォーラム プログラム・オフィサー)